



小学校 3年 ()組 ()番 名前()

学校教育目標や育成したい資質・能力を踏まえ、3年生の目指す姿を配付前に教職員が記入しましょう。3年生がイメージできるような具体的な姿で示すことがポイントです。配付時には、教職員の思いを児童に説明しましょう。

こんな3年生になりたい！

今年度末の自己の目指す姿を児童自身に設定させます。「〇〇の場面で〇〇ができるようになる。」といった具体的な姿や態度で設定させてください。

広しまけんの15さいの生とにみにつけておいてもらいたい力

〇自分をにんしきする力

自分は

〇自分の

〇ひょうげん

自分自

のつかい方

3年生から「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」を記載しています。意図は、小学校段階から15歳という義務教育終了時の自分の姿を意識させるためです。おそらく、本シートを見る時が児童にとっては最初の出会いとなります。ぜひ、児童への配付時には当欄の記載について触れ、今後、どのような力を伸ばしていく必要があるのかについて説明しましょう。

できる力のこと

できめることが

うじて、ことば

ことができる力のことです。

1学き

1学きにがんばりたいこと

「がんばりたいこと」の欄は、「こんな3年生になりたい」を踏まえ、具体的な行動目標を決める箇所です。なるべく、学期末に振り返ることの容易な、具体的な目標になるように声掛けをしましょう。



1学きの自分をふりかえりましょう

(学しゅうめん)

3年生からは、学習面等の視点を踏まえ、分析的に振り返るようになっていきます。

これまでの授業や学校行事の記録、上記の「がんばりたいこと」などを基に記入させます。「できた・できていない」だけでなく、できるようになるために行動した自分にも気付かせることが何よりも大切です。できるようになっていなくても、そこに向けて力を注いだことがあることを伝え、「〇〇を続けた」など児童の努力を自覚できるようにし、頑張っていることとして、肯定的に捉えられるよう支援をしましょう。

視点については変更することはできますが、高学年や中学校、高等学校での記述と比較ができるような項目を御検討ください。

(学校行じ)

2学き

2学きにがんばりたいこと

前の学期と内容が同じになる児童もいます。頑張り続けていることとして認め、無理に変更させることがないようにしましょう。



2学きの自分をふりかえりましょう

(学しゅうめん)

(生活: そうじの時間, かかり活どうなど)

(お家や地いきで)

(学校行じ)

3学き

3学きにがんばりたいこと

(学しゅうめん)

(生活: そうじの時間, かかり活どうなど)

(お家や地いきで)

(学校行じ)

1年間をふりかえって

3年生で一番楽しかったこととその理ゆう

3年生でできるようになったこと

「できるようになったこと」は、考えにくい児童もいます。「2年生のころと比べると・・・」や、「2学期と比べると・・・」のように、考えるヒントを与えるなどの工夫をしましょう。

できるようになったことを考えることは、「自己認識」にもつながります。児童が書きやすいようなら箇条書きでも構いません。自己の成長を振り返っていることを大切にしましょう。

4年生でがんばりたいこと

本シートの児童自身の振り返りも参考にさせながら、次年度の目指す姿をイメージさせましょう。

「4年生の自分の姿を想像してみる」ということが大切です。学級活動等で意見交流することもよいアイデアです。

先生や家の人から児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らのよさや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めたりすることにつながります。十分に振り返りが書けなかった児童に対しては、児童自身が自覚できなかったよさや可能性などをメッセージとして送ることで、将来、自分の成長を振り返ることができます。